

## 第2章 ランキング札幌



ひところ“札幌二度泣き。”と言われたことがあります。札幌転勤を命ぜられたサラリーマン家族がイヤイヤ——泣きながらやって来て、数年して他の土地への転勤辞令が出ると、今度は、札幌を去り難くて泣く、というわけです。いかに札幌が魅力に富んだ都市であるかを証拠だてているエピソードではありませんか。

「日本なんとか百選」がはやっていますが、そこには実に多くのもろもろがランクされていて驚くほどです。そこらあたりを、この章で——

### 1 節 都市の魅力・郷土意識

#### ● 地域ブランド調査

全国3万人の消費者を対象に、1,000以上の市町村等の魅力度や認知度やイメージなど、ブランド力を評価した民間企業の調査「地域ブランド調査(ブランド総合研究所)」において、札幌市は平成18(2006)年の調査開始以降、8回行われた調査のうち6回で「全国で最も魅力的な市」という結果がでました。

8割以上もの多くの方が札幌市に「魅力を感じる」と答えている一方で、特筆すべきは「魅力的ではない」と否定的な意見の人が特に少なかったことが挙げられます。

自然や歴史、都市環境など、魅力を兼ね備えた多くの市町村等の中で、全国1位という結果が得られたのは、その意識の高さにおいて市民の地道なまちづくり活動の結果と言えます。

#### 地域ブランド調査結果

	H18(2006) (第1回)		H19(2007) (第2回)		H20(2008) (第3回)		H21(2009) (第4回)		H22(2010) (第5回)		H23(2011) (第6回)		H24(2012) (第7回)		H25(2013) (第8回)																	
	市	町	村	点数	市	町	村	点数	市	町	村	点数	市	町	村	点数																
1	札幌市			60.5	札幌市			61.1	札幌市			59.5	函館市			58.8	札幌市			57.0	札幌市			57.0	札幌市			60.0	京都市			53.8
2	神戸市			58.0	京都市			60.0	函館市			55.9	札幌市			56.4	函館市			55.5	函館市			56.7	京都市			55.6	函館市			53.4
3	函館市			57.6	横浜市			55.5	京都市			55.1	京都市			56.3	京都市			52.2	京都市			54.9	函館市			52.8	札幌市			52.1
4	横浜市			57.6	函館市			54.7	横浜市			51.9	横浜市			51.9	横浜市			49.6	横浜市			51.7	横浜市			49.7	横浜市			48.0
5	京都市			56.3	小樽市			50.7	小樽市			49.2	神戸市			50.9	小樽市			47.3	神戸市			50.1	神戸市			47.0	富良野市			46.8
6	富良野市			55.4	神戸市			50.2	神戸市			47.8	小樽市			50.5	神戸市			46.4	富良野市			48.3	小樽市			44.9	小樽市			45.4
7	小樽市			54.6	鎌倉市			49.8	富良野市			46.5	鎌倉市			48.0	鎌倉市			44.5	鎌倉市			47.8	鎌倉市			44.9	鎌倉市			42.8
8	鎌倉市			53.3	富良野市			44.3	鎌倉市			45.9	富良野市			47.6	富良野市			44.0	小樽市			47.3	富良野市			44.9	神戸市			42.4
9	那覇市			48.0	金沢市			40.8	軽井沢町			41.4	金沢市			41.3	金沢市			38.6	金沢市			40.7	金沢市			42.5	金沢市			41.5
10	沖縄市			45.0	軽井沢町			38.3	金沢市			39.8	軽井沢町			40.9	長崎市			38.3	奈良市			39.2	石垣市			41.0	石垣市			38.7

● 市政世論調査

札幌市民の生活や市政について意識・関心・要望などを調査する「市政世論調査」は昭和43（1968）年度から年1回、1,500人を対象に行われています。

その調査では、札幌市民の郷土意識の高さがうかがえ、札幌の街が好きと答えた市民は、33年連続して9割以上という結果となっています。

札幌市民憲章は、戦後の急速な都市化により市民の連帯意識などが低下してきたことを憂いた市民団体の思いから端を発しましたが、いかに“札幌らしく”、郷土意識がしっかり根付き醸成されているかがうかがい知れます。

市政世論調査結果

\*札幌の街が好きか (％)

	H20(2008)	H21(2009)	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)
好き・どちらかといえば好き	94.4	97.6	93.9	97.3	90.5
嫌い・どちらかといえば嫌い	2.2	2.3	1.8	1.6	2.1

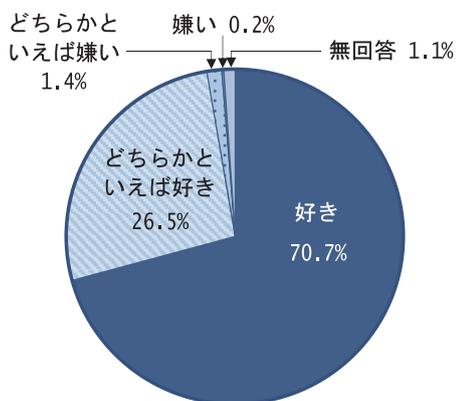
\*札幌が好き理由（2つまで回答）※上位2項目 (％)

	H20(2008)	H21(2009)	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)
緑が多く自然が豊かだから	34.8	31.6	35.8	35.8	34.7
四季の変化がはっきりしていて、季節感があるから	31.7	30.3	31.4	32.2	30.6

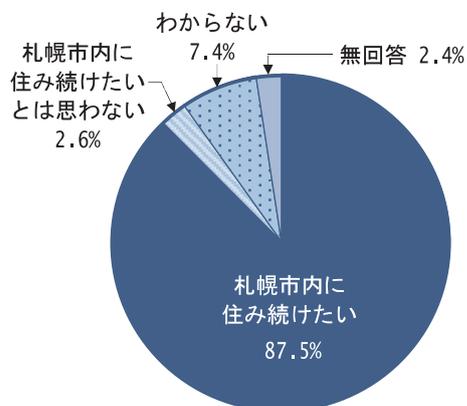
\*現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいか (％)

	H20(2008)	H21(2009)	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)
現在住んでいる地域にこれからも住み続けたい	73.8	71.9	69.9	72.8	71.4
札幌市内に住み続けたいが、現在住んでいる地域には住み続けたいと思わない	13.7	16.1	15.3	14.7	11.6
札幌市内に住み続けたいと思わない。	3.0	3.2	3.0	2.6	2.8

札幌の街に対する愛着度



札幌の街に対する定住意向



<資料> 札幌市「平成23年度市政世論調査」

## 2 節 日本百選花盛り

日本全国や北海道全体を対象に、地域資源がさまざまな百選として多くの組織や人たちにより選定されています。

歴史が醸成したもの、守られてきた自然の恵み、近代の叡智の結晶ともいえる建築や芸術作品など多岐にわたっており、選ばれたことがわが街の魅力を示しています。

※札幌のほか、道内分も記載

- 水源の森百選（3カ所）[平成7(1995)年7月 林野庁] —————  
奥定山溪国有林水源の森（札幌市）、亀田川水源の森（函館市）、当別水源の森（当別町石狩郡）
- 日本の音風景百選（5カ所）[平成8(1996)年 環境省] —————  
時計台の鐘（札幌市）、オホーツク海の流水・オホーツク海沿岸  
函館ハリストス正教会の鐘（函館市）、大雪山旭岳の山の生き物（東川町）  
鶴居のタンチョウサンクチュアリ（鶴居村）
- 日本の歴史公園100選（12カ所）[平成18(2006)年10月 都市公園法施行50周年記念事業実行委員会]  
大通公園（札幌市）、中島公園（札幌市）、函館公園（函館市）、見晴公園（函館市）  
五稜郭公園（函館市）、元町公園（函館市）、函館山緑地（函館市）、春採公園（釧路市）  
緑ヶ丘公園（帯広市）、明治公園（根室市）、戸切地陣屋跡史跡公園（北斗市）、松前公園（松前町）



大通公園



中島公園

- 新エネ百選（10カ所）[平成21(2009)年4月22日 資源エネルギー庁新エネルギー対策課] —————  
札幌市モエレ沼公園 ガラスのピラミッド雪冷房システム（札幌市）  
『だし風』とともに歩む未来へ（寿都町）  
苫前グリーンヒルウインドパーク（株式会社ユーラスエナジー苫前）（苫前町）  
日本初洋上風車「風海鳥（かざみどり）」（せたな町）  
『黒ダイヤから、雪の白ダイヤへ』  
～美唄利雪産業クラスターの形成に向けて～  
（美唄自然エネルギー研究会）（美唄市）  
「輝け雪のまち」～雪と共生するまちづくり～（沼田町）  
雪蔵貯蔵施設（洞爺湖地域温暖化対策まちづくり協議会）（洞爺湖町）  
木質バイオマスコージェネレーション設備  
（津別単板協同組合）（津別町）  
モエレ沼公園  
足寄町木質バイオマス資源利用促進事業（足寄町）、人と地球にやさしいまちづくり（稚内市）



モエレ沼公園

- **イルミネーション100選** (5カ所) [平成25(2013)年3月 びあ編集チーム]
  - さっぽろホワイトイルミネーション (札幌市)
  - サッポロファクトリークリスマス (札幌市)
  - はこだてクリスマスファンタジー (函館市)、Bay Forest X'mas (小樽市)
  - あさひかわ街あかりイルミネーション (旭川市)
  
- **音響家が選ぶ優良ホール100選** (10カ所) [平成12(2000)年4月 日本音響家協会]
  - 札幌市教育文化会館、札幌サンプラザホール、札幌コンサートホールKitara
  - 札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」、浦河町総合文化会館、旭川市大雪クリスタルホール
  - だて歴史の杜・カルチャーセンター、朝日町サンライズホール
  - 北広島市芸術文化ホール・花ホール、斜里町公民館・ゆめホール知床
  
- **都市景観100選** (5カ所) [平成3(1991)～12(2000)年 国土交通省・都市景観大賞審査委員会]
  - 大通地区 (札幌市)、函館市西部地区 (函館市)、帯広の森地区 (帯広市)
  - 小樽運河とその周辺地区 (小樽市)、中歌・姥神周辺地区 (江差町)
  
- **近代水道百選** (7カ所) [昭和60(1985)年 日本水道新聞社]
  - 藻岩第一浄水場 (札幌市)、白川(しらいかわ)浄水場 (札幌市)、覆蓋付緩速ろ過池 (旭川市)
  - 一の沢水源 (岩見沢市)、奥沢水源 (小樽市)、元町中区配水池 (函館市)、笹流ダム (函館市)
  
- **につぼんの温泉100選** (11カ所) [平成24(2012)年度 観光経済新聞社主催]
  - 定山溪温泉、登別温泉、湯の川温泉、十勝川温泉、洞爺湖温泉、川湯温泉、阿寒湖温泉
  - 知床・ウトロ温泉、層雲峡温泉、北湯沢、ニセコ温泉郷
  
- **夜景100選** (4カ所) [平成16(2004)年 非営利団体・夜景100選事務局]
  - 藻岩山 (札幌市)、JRタワー展望室 T38 (札幌市)、函館山〔日本三大夜景〕(函館市)
  - 天狗山 (小樽市)
  
- **公共建築100選** (3カ所) [平成10(1998)年 当時の建設省]
  - 札幌芸術の森 (札幌市)、北海道開拓記念館 (札幌市)、江差追分会館 (江差町)



北海道開拓記念館



札幌芸術の森

● ふるさといきものの里百選 (4カ所)

[平成元(1989)年 環境省]

**西岡水源池 (札幌市)**

網走カエルの里 (網走市)

丸瀬布町森林公園いこいの森 (丸瀬布町)

栗山町御大師山 (栗山町)



西岡水源池

● 日本百名橋 (3カ所)

[大阪市都市工学情報センター理事長の松村博が、著書『日本百名橋』平成10(1998)年において私選]

**豊平橋 (札幌市)**、旭橋 (旭川市)、幣舞橋 (釧路市)

● 日本の道百選 (4カ所) [昭和61(1986)年～昭和62(1987)年 建設省]

**大通公園 (札幌市)**、大三坂道 (函館市)、国道5号線 赤松並木の道 (七飯町)

二十間道路桜並木 (静内町)

● 日本の滝百選 (6カ所)

[平成2(1990)年4月 環境省と林野庁の後援のもと、緑の文明学会、グリーンルネッサンス、緑の地球防衛基金の3団体が企画]

**アシリベツの滝 (札幌市)**、羽衣の滝 (東川町)、飛竜 賀老の滝 (島牧村)、インクラの滝 (白老町)

流星 銀河の滝 (上川町)、オシンコシンの滝 (斜里町)

● ダム湖百選 (5カ所)

[平成17(2005)年 地方自治体の推薦と財団法人ダム水源地環境整備センターの認定によって選出]

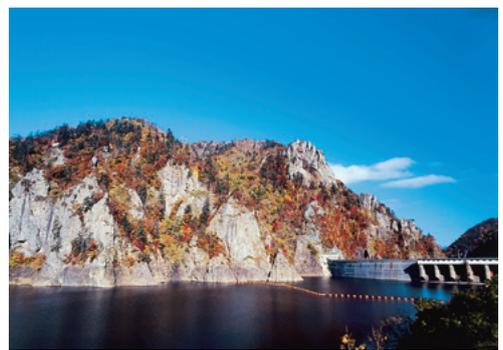
**定山湖 [豊平峡ダム 石狩川水系 豊平川] (札幌市)**

富里湖 [富里ダム 常呂川水系 仁頃川] (北見市)

聖台ダム公園 [聖台ダム 石狩川水系 宇英別川] (美瑛町)

かなやま湖 [金山ダム 石狩川水系 空知川] (南富良野町)

笹流貯水池 [笹流ダム 亀田川水系 笹流川] (函館市)



豊平峡ダム

● 美しい日本の歴史的風土100選 [平成19(2007)年1月 美しい日本の歴史的風土100選実行委員会]

**大通公園・円山 [大倉山]・北海道大学 (札幌市)**、小樽運河及び周辺の歴史的街並み (小樽市)

函館西部地区の歴史的街並み (函館市)、松前家城下町の遺産 (松前町)、根室半島の灯台群 (根室市)

ニシン漁で栄えた港町のたたずまい (江差町)、春採台・モシリヤなど遺跡群 (釧路市)

釧路湿原 (釧路町)、阿寒湖・写真の町東川の風景 (東川町)

● 大人が楽しめる 社会科見学 100 選 [びあレジャーグループ]

**白い恋人パーク (札幌市)**、ニッカウキスキー余市蒸溜所 (余市町)、大樹航空宇宙実験場 (大樹町)

- 行ってよかった日本の展望スポット2013[平成25(2013)年 旅行口コミサイトTripAdvisor]——  
大倉山ジャンプ競技場〔3位〕(札幌市)、札幌JRタワー展望台〔4位〕(札幌市)  
五稜郭タワー〔9位〕(函館市)
  
  - 理容遺産[平成25(2013)年 全国理容生活衛生同業組合連合会]——  
旧山本理髪店〔北海道開拓の村展示〕(札幌市)
  
  - 甦る水百選[平成12(2000)年 国土交通省都市・地域整備局]  
開拓の歴史・水プロムナード(札幌市)  
身近な水辺空間の復元・ホリカン川(北見市)
  
  - 全国ランニング大会100撰——  
[平成24(2012)年 日本最大のランナー専門ウェブサイトRUNNETが行っている人気大会投票]  
北海道マラソン、洞爺湖マラソン、サロマ湖100kmウルトラマラソン、千歳国際マラソン
  
  - 新日本旅行地100選[昭和41(1966)年 日本交通公社が発行する雑誌『旅』の創刊40周年記念として選定]  
札幌、摩周湖、知床半島、阿寒湖、層雲峡、美幌町、襟裳岬、大雪山、登別温泉、洞爺湖
  
  - ヘリテージング100選[平成18(2006)年 毎日新聞社創刊135周年記念として選定]——  
野外博物館北海道開拓の村(旧浦河支庁庁舎、旧開拓使工業局庁舎、旧北海中学校など)、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋りょう群(タウシュベツ川橋りょう、第三音更川橋りょう、第五音更川橋りょうなど)、函館市内(旧函館区公会堂、函館ハリストス正教会復活聖堂、元町・末広町周辺の和洋折衷住宅など)、小樽市内(日本銀行旧小樽支店金融資料館と北のウォール街、旧日本郵船(株)小樽支店、小樽市鯨御殿など)  
※ヘリテージング:明治から戦前までの日本の近代遺産を楽しむ観光スタイルのこと。ヘリテージ(heritage)は「遺産」を意味する。
  
  - 日本百名湯[平成12(2000)年～平成14(2002)年 日本経済新聞]——  
定山溪温泉、菅野温泉、養老牛温泉、登別温泉、洞爺湖温泉、ニセコ温泉郷、朝日温泉
  
  - 森林浴の森百選[昭和61(1986)年 林野庁・緑の文明学会・地球環境財団]——  
野幌森林公園、函館山、利尻島自然休養林、網走自然休養林
- 
- ほっかいどう 100の道[平成24(2012)年 北海道新聞社]——  
(北海道新聞創刊70周年記念として、道内の「通りたい道」を読者とともに選抜)  
三角山フットパス、創成川通、ミニ大通、北大のイチヨウ並木・ポプラ並木、ファイターズ通り  
コンサ通り、札幌駅前通地下歩行空間、札幌恵庭自転車道線、百合が原フットパス  
札幌アートトレイル ※札幌市分のみ掲載
  
  - 北海道遺産[平成13(2001)年 北海道遺産構想推進協議会]——  
北海道大学札幌農学校第二農場、開拓使時代の洋風建築、札幌苗穂地区の工場・記念館群  
路面電車 ※札幌市分のみ掲載

## ● さっぽろ・ふるさと文化百選

[昭和 63 (1988) 年 札幌市が札幌開基 120 周年を記念して市民公募により選定]

## 建物

番号	名称	所在地	説明
No.001	旧札幌麦酒会社工場	北 2 東 4 ~ 5	現 サッポロファクトリー
No.002	旧福山商店	北 3 東 3	現 cafe rosso
No.003	カトリック北 1 条教会	北 1 東 6	現在の正堂は大正 5 (1916) 年に建てられた
No.004	日本キリスト教団札幌教会	北 1 東 1	札幌軟石を使用した現会堂は明治 37 (1904) 年に建てられた
No.005	東辰医院	大通東 7	平成 3 (1991) 年に取り壊しとなった洋風建築の医院
No.006	旧遠藤醸造店	南 4 東 4	イシャチョコレートファクトリーに移築復元 (西区宮の沢 2-2)
No.007	秋野総本店薬局	南 1 西 1	開業は明治 5 (1872) 年の老舗
No.008	豊水小学校大正記念文庫	南 8 西 2	豊水小学校保護者会により建造された図書館
No.009	浅野邸	南 5 西 8	現 茶房あさの。平成 22 (2010) 年解体
No.010	東本願寺札幌別院	南 8 西 8	本願寺道路を建設するなどして北海道の開拓に係わった
No.011	旧小熊邸	南 1 西 20	小熊揮の邸宅だった。解体後に移築され、現在ろいず珈琲館
No.012	旧数商事ビル	南 1 西 13	現 三誠ビル
No.013	杉野目邸	南 19 西 11	かつて北海道大学の学長であった杉野目晴貞の邸宅
No.014	旧北星女学校宣教師館	南 4 西 17	現 北星学園創立百周年記念館
No.015	北海道拓殖銀行旧本店	宮の森 904	平成 14 (2002) 年に解体
No.016	大倉シャンツェ (大倉山ジャンプ競技場)	宮の森 1274	大倉喜七郎により建設され、札幌オリンピックでも使用された
No.017	知事公館	北 1 西 16	登録有形文化財
No.018	旧札幌控訴院	大通西 13	現 札幌市資料館。登録有形文化財
No.019	伊藤邸	北 5 西 8	平成 6 (1994) 年解体
No.020	旧札幌博物館	北 3 西 9 (北海道大学植物園内)	現 北大農学部附属博物館
No.021	旧パチエラー邸	北 3 西 9 (北海道大学植物園内)	現 パチエラー記念館
No.022	中央警察署	北 1 西 5	解体後、デザインを復元
No.023	旧庁立図書館	北 1 西 5	現 北海道立文書館別館
No.024	旧札幌農学校校舎	北 9 西 8	北大構内にある
No.025	古河記念講堂	北 9 西 7	北大構内にある
No.026	旧藤高等女学校校舎	北 16 西 2 (藤学園内)	平成 13 (2001) 年解体
No.027	新琴似屯田兵屋	新琴似 1-5	新琴似に屯田兵が入植したときに建てられた木造家屋
No.028	近藤牧場	新川 694	牧場内に木造のサイロがある
No.029	篠路屯田兵屋	屯田 5-6	篠路にある屯田兵の家屋
No.030	篠路駅周辺の倉庫群	篠路 3-7	現在もレンガ造りの倉庫がある
No.031	北海湯	北 7 東 3	現 STUDIO BAR 北海湯
No.032	旧菊亭脩季邸	北 7 東 8	平成 9 (1997) 年解体
No.033	旧札幌製糖会社工場	北 7 東 9	現 サッポロビール博物館
No.034	本龍寺の妙見堂	北 14 東 15	大友亀太郎が建てた
No.035	JR 苗穂工場	北 5 東 14	明治 42 (1909) 年に鉄道車両の検査・修理のために設立された
No.036	旧馬場農場のサイロ	厚別中央 2-3	ひばりが丘団地内にシンボルとして保存されている
No.037	旧出納邸	上野幌 1-5	大正 14 (1925) 年に建てられた出納陽一の邸宅
No.038	恵庭荘	上野幌 1-5	明治 26 (1893) 年に建てられた呉服商の純和風の邸宅。もとは料亭で、昭和 39 (1964) 年に現在地に移転された
No.039	旧北部軍司令官官邸	月寒東 2-2	現 つきさつふ郷土資料館
No.040	八紘学園の洋館と牧舎	月寒東 1-12 ~ 13	現 栗林記念館、現 農業記念館
No.041	旧石山郵便局	石山 2-3	現 ほすとかん
No.042	旧真駒内種畜場事務所	真駒内泉町 1	現 エドウィン・ダン記念館
No.043	旧有島武郎邸	常盤 75	札幌芸術の森内にある
No.044	ヘルヴェチア・ヒュッテ	定山溪	建築家マックス・ヒンデルが設計したヒュッテ。ヘルヴェチアはスイスの古名
No.045	三谷牧場	発寒 8-13	サイロや牛舎、ポプラ並木が残されている
No.046	旧軽川倉庫	手稲本町 1-3	平成 11 (1999) 年に解体された

## 遺跡

番号	名称	所在地	説明
No.047	島義勇とコタンベツの丘	宮ヶ丘	開拓判官 島義勇が、札幌のまちづくりを構想したとされる丘。現在の円山付近
No.048	札幌焼窯跡	界川 4	旭山公園への道路沿いに窯跡が残っている
No.049	すすきの遊郭跡	南 4 ~ 5 西 3 ~ 4	明治 41 (1871) 年、開拓判官 岩村通俊が遊郭を設置
No.050	札幌建設の地	南 1 西 1	明治 2 (1869) 年、札幌のまちづくりの基点とされた
No.051	遠友夜学校跡	南 4 東 4	明治 27 (1894) 年に新渡戸夫妻が創立した
No.052	吉田茂八ゆかりの地	南 5 東 4	吉田茂八は豊平川の渡し守だった
No.053	札幌農学校とクラーク博士	北 9 西 7	北海道大学構内
No.054	北大遺跡保存庭園	北 18 西 11 ~ 12	北海道大学構内
No.055	偕楽園跡	北 7 西 7	水戸の偕楽園と同名の公園。札幌で最初に作られた。公園内に清華亭がある
No.056	荒井金助と早山清太郎ゆかりの地	篠路町上篠路 226 龍雲寺	両者は、篠路の開墾に係わった

番号	名称	所在地	説明
No.057	篠路の馬魂碑・馬頭観音	篠路町拓北山口太師内他	馬産地篠路には、数多くの馬魂碑や馬頭観音が残る
No.058	藍栽培ゆかりの地	篠路町拓北	「あいの里」の地名は、これに由来している
No.059	大友堀跡	北 13 東 16	大友堀は創成川の旧称
No.060	日の丸農場跡	北 41 東 10	現 ひのまる公園
No.061	レンガ工場跡	本通 9 南	明治時代、赤レンガ生産は札幌の重要産業のひとつであった
No.062	白石入植の地	本通 14 北 1	白石神社境内
No.063	志村鐵一ゆかりの地	豊平 4-1	札幌に和人が定住したはじまりといわれる
No.064	平岸リンゴ園跡	平岸 2-17	むかしは平岸にリンゴ並木があった
No.065	平岸の開拓と精進川	平岸	平岸地区に入植した人々が精進川から水を引き、現在の平岸街道沿いに堀割を作った
No.066	アンパン道路	月寒西 4-6	月寒～平岸間の道路工事の際、歩兵隊へアンパンが配られたことに由来
No.067	伝説・おいらん淵	真駒内柏丘 12	藻南公園にある
No.068	石山軟石採掘場跡	石山 78	明治 8(1875)年発見
No.069	本願寺街道	簾舞	現 国道 230 号の原形
No.070	旧定山溪鉄道	定山溪温泉～豊平4-9 (旧豊平駅)	大正 7(1918)年誕生。昭和 44(1969)年廃止
No.071	琴似屯田開拓の道	琴似	「屯田兵が歩いた道」として、現在も市民に親しまれている
No.072	時習館跡	宮の沢 1 南 1	手稲に入植した宮城白石藩士 三木勉が私塾「時習館」をはじめた

## 街並み

番号	名称	所在地	説明
No.073	円山八十八ヶ所	宮ヶ丘	上田万平(うえたまんべい)と、その兄弟の善七が円山登山道を開いた。そして四国八十八ヶ所にちなみ、八十八の観音が置かれた
No.074	裏参道	南 2 西 20～28	札幌市街地と円山にある札幌神宮(現・北海道神宮)とを結ぶ道として、大正時代に作られた
No.075	円山の朝市	北 6 西 24	かつて円山では朝市が開かれていた
No.076	桑園の大学村	北 6 西 11～13	明治後期より、北海道大学の教官が多く住んだ地区
No.077	木レンガ舗装とイチヨウ並木	北 3 西 4	大正 13(1924)年、初めて木レンガ舗装が行われた道路。翌年にイチヨウ 32 本が植えられた
No.078	北大植物園	北 2 西 8	日本初の近代的植物園
No.079	北 1 条通りのアカシア並木	北 1 西 1～19	明治 4(1871)年、ニセアカシアが植えられた
No.080	大通公園	大通西 1～12	さっぽろ雪まつりの会場として知られる
No.081	中島公園	中島公園	明治時代は中島遊園地と呼ばれていた
No.082	山鼻屯田兵村跡	南 6～22 西 8～13	現在、東屯田通・西屯田通と呼ばれている
No.083	狸小路	南 2 西 1～9	明治初期に店が建てられたのが起源。札幌でもっとも古い商店街である
No.084	二条市場	南 2～3 東 1～2	明治 36(1903)年に、魚介類の小売商が小屋を建てたのが起源
No.085	創成川と創成橋	南 1 西 1～東 1	幕末に開削された農業用水路が起源
No.086	創成川通りのポプラ並木	屯田 1～6	3km にわたりポプラ並木が続いている
No.087	屯田防風林	屯田	大正 11(1922)年、強風から農作物を守るために作られた
No.088	北大ポプラ並木	北 11～12 西 10	明治 36(1903)年、札幌農学校の農場内に、実習用に植えられた
No.089	元村街道と大覚寺の山門	北 7～10 東 3～11	古くから石狩～札幌本府に至る唯一の重要な陸路であった
No.090	旧月寒種羊場	羊ヶ丘	現 北海道農業研究センター
No.091	定山坊と定山溪温泉	定山溪温泉	定山坊とは美泉定山のこと

## 用具

番号	名称	所在地	説明
No.092	スキー、スケートの伝来	中島公園 1-3 (冬のスポーツ博物館)	スキーは明治 10(1877)年にアメリカ人教師が、スキーは明治 41(1900)年にスイス人教師が日本で初めて紹介
No.093	バター、チーズ製造用具	苗穂町 6 (雪印乳業史料館)	大正時代に使用されていた製造用具が陳列されている
No.094	貯炭式のストーブ第 1 号	厚別町小野幌 (北海道開拓記念館)	大正 14(1925)年設立の「北海道製酪販売組合」で使用された製造用具。大正末期のストーブが収蔵されている
No.095	路面電車 22 号	真駒内東町 1 (札幌市交通資料館)	大正 7(1918)年、札幌に初登場した最古の型式の路面電車
No.096	ササラ電車	真駒内東町 1 (札幌市交通資料館)	現在も札幌の冬の風物詩のひとつ

## まつり・行事など

番号	名称	所在地	説明
No.097	札幌祭り		明治 4(1871)年、札幌神社(現北海道神宮)の例大祭としてはじまる
No.098	篠路の獅子舞	篠路 4-7	現在「篠路獅子舞保存会」により継承されている
No.099	患難寮歌「都ぞ弥生」	北 17 西 9	日本三大寮歌のひとつ。詩は横山芳介が、メロディは赤木頭次がつけた
No.100	藻岩山の山開き	藻岩山	明治 19(1886)年、山道がつくられ、山開きが行われたのが起源

### 3 節 守り伝えられてきた文化財

札幌市内には、明治の開拓期の頃、アメリカ風の建築様式を取り入れつつも、日本の文化も合わせた「和洋折衷様式」の建物が多く、有形の文化財として指定されているものが多くあります。

また、本州以南の地域と比べ、無形の文化財は少ないものの、富山県から入植した人たちによって伝えられた丘珠獅子舞など今にも受け継がれています。

こうした文化財は、長い歴史のなかで生まれ、育まれ、守り伝えられてきた貴重な財産であり、札幌の街並みや魅力に歴史という深みや趣を与えています。

#### 文化財一覧

国指定	重要文化財	旧札幌農学校演武場（時計台）	中）北 1 西 2	★
	重要文化財	八窓庵（旧舎那院忘筌）	中島公園内	★
	重要文化財	豊平館	中島公園内	★
	重要文化財	北海道大学農学部植物園・博物館	北大植物園内	
	重要文化財	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	北大構内	
	重要文化財	北海道庁旧本庁舎	中）北 2・3 条西 5・6	
	重要有形民俗文化財	アイヌのまるきぶね	北大植物園内北方民族資料室	
	重要無形民俗文化財	アイヌ古式舞踊	—	
	史跡	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	中）北 2・3 条西 5・6	
	史跡	琴似屯田兵村兵屋跡	西）琴似 2-5	★
	天然記念物	円山原始林	円山	
	天然記念物	藻岩原始林	藻岩	
	重要文化財	太刀銘国俊・刀無銘伝来国行	—	
	重要文化財	箱館奉行所文書	北海道立文書館内	
重要文化財	旧開拓使工業局庁舎	北海道開拓の村内		
道指定	有形文化財	旧永山武四郎邸	中）北 2 東 6	★
	有形文化財	琴似屯田兵屋	西）琴似 1-7 琴似神社境内	
	有形文化財	札幌市 K-446 遺跡出土の遺物	札幌市埋蔵文化財センター	
市指定	有形文化財	清華亭	北）北 7 西 7	★
	有形文化財	旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）	南）簾舞 1-2	★
	有形文化財	新琴似屯田兵中隊本部	北）新琴似 8-3	★
	有形文化財	木造日蓮聖人坐像	中）南 11 西 9	
	有形文化財及び史跡	札幌村・大友亀太郎関係歴史資料及び史跡	札幌村郷土資料館	★
	無形文化財	丘珠獅子舞	—	
	史跡	手稲山口バツタ塚	手）手稲山口 324	★
	有形文化財	旧琴似川流域の竪穴住居跡分布図	札幌市埋蔵文化財センター	
	有形文化財	札幌市 N30 遺跡出土品	札幌市埋蔵文化財センター	
	国登録	有形文化財	札幌市資料館（旧札幌控訴院）	中）大通西 13
有形文化財		北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	北大構内	
有形文化財		北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	中）南 4 西 17	
有形文化財		日本基督教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	中）北 1 東 1	
有形文化財		北海道知事公館（旧三井クラブ）	中）北 1 西 16	
有形文化財		杉野自家住宅	中）南 19 西 11	
有形文化財		北海道大学農学部博物館パチエラー記念館	北大植物園内	
有形文化財		北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室） ※現 宮部金吾記念館	北大植物園内	
有形文化財		北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	北大構内	
有形文化財		北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	北大構内	
有形文化財		北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	北大構内	
有形文化財		エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	南）真駒内泉町 1	
有形文化財		旧西岡水源地取水塔	西岡公園内	
有形文化財		沼田家住宅旧りんご倉庫	豊）西岡 4-10	
有形文化財		黒田家住宅（主屋・蔵・石塀・表門）	中）南 13 西 7	
有形文化財		沼田家住宅旧第二りんご倉庫	豊）西岡 4-10	
有形文化財		柳田家住宅旧りんご蔵	豊）平岸 2-5	

★は札幌市観光文化局文化部（TEL 011-211-2312）所管、札幌市埋蔵文化財センター（TEL 011-512-5430）

● 時計台 ————— TEL 011-231-0838

札幌農学校の演武場として、初代教頭クラークの帰国後、第2代教頭ホイラーの構想に基づき、明治11(1878)年10月に完成しました。日本国内でも類例の少ない開拓使時代の建築物であり、昭和45(1970)年6月国指定の重要文化財となりました。

時計の機械は、鳩時計と同様の振り子時計で、動力に



はおもりを利用しています。この仕組みの時計としては、日本で原形のまま正確に作動している最も古い塔時計となっています。

時計台は、札幌を象徴する建物として文学や芸術作品にもしばしば登場しており、有島武郎の「星座」、高階哲夫作詞・作曲の「時計台の鐘」などが有名です。

● 豊平館 —————

豊平館は、開拓使が洋造ホテルとして建てたものであり、明治13(1880)年に完成し、続いて、付属施設、外構工事などを行い、翌明治14(1881)年、明治天皇行幸の直前に全工事を完了しました。

戦後、昭和23(1948)年には札幌市中央公民館となり、翌24(1949)年には札幌市民会館と改称されました。



昭和33(1958)年に中島公園内の現在地に移転し、昭和39(1964)年に国の重要文化財に指定されました。

豊平館は、開拓使建築の代表的作品であり、当時の洋風建築技術の総決算的な内容を持っています。現在は耐震補強などの修理工事を行っており、平成28(2016)年度リニューアルオープン予定です。

● 円山原始林／藻岩原始林 —————

円山・藻岩山の森林は、開拓使時代から保護され、明治25(1892)年にはハーバード大学の樹木学者サージェントから「土地の気候、山の大きさの割にきわめて樹木が豊富で世界的にもめずらしい」との評価を得ており、大正10(1921)年には天然記念物に指定されました。

世界的にみて、日本の一人あたりの森林面積は極めて小さいとされており、市域の中に天然林を持っている例は少なく、札幌という大都市のなかにおいて、市民に親しまれ、保護されてきたことは天然記念物としての価値を一層高めているといえます。



● 清華亭 ————— TEL 011-746-1088

明治 13(1880)年、札幌の最初の公園である偕楽園内の小さな丘の上に、開拓使の貴賓接待所として建てられました。和洋両様式を取り入れた建築で、開拓長官黒田清隆によって「水木清華亭」と名付けられ、明治 14(1881)年には、明治天皇行幸の際、ご休憩場所として使われました。

明治 19(1886)年、清華亭は民間に払い下げられましたが、市内の有志により建物は大切に保存され、昭和 36(1961)年には札幌市指定有形文化財となりました。



● 札幌市資料館 ————— TEL 011-251-0731

大通公園の西端に位置する札幌市資料館は、札幌控訴院（のちの札幌高等裁判所）として大正 15(1926)年に完成しました。当時、全国で八つ建築された控訴院のうち、現存するのは札幌と名古屋だけとなっています。



外壁に灰色の札幌軟石を使用しており、明治後期の建物に比べ、凹凸や装飾が少なく、色合いも地味で全体的に抑制されたデザインであり、大正時代のモダニズムが感じられる建物となっています。札幌市資料館は、平成 9(1997)年に国の登録有形文化財となりました。

● エドウィン・ダン記念館 — TEL 011-581-5064

北海道の畜産技術導入のため真駒内につくられた種畜場の事務所として、明治 20(1887)年に建てられました。

真駒内種畜場は、明治 9(1876)年に農畜産の技術指導



者エドウィン・ダンの指導のもとに創設された開拓使真駒内牧牛場が起源となっています。

現在は、畜産技術を指導したダンの業績をしのぶ記念館として公開しており、平成 12(2000)年に国の登録有形文化財となりました。

● 北海道庁旧本庁舎 ————— TEL 011-204-5019

通称「赤れんが庁舎」とよばれるこの建物は、明治19(1886)年7月、北海道庁設置にともない建築に着手し、同21(1888)年12月に完成しました。

明治20(1887)年代の日本人の設計による規模の大きい



レンガ造り官庁建築として貴重な遺構となっています。

北海道庁旧本庁舎は、明治29(1896)年の凍害等や明治42(1909)年の火災などに見舞われましたが、昭和43(1968)年、新庁舎の新築に伴い、北海道百年記念事業の一環として創建当時の姿に修復されました。

● 北海道大学農学部(旧東北帝国大学農科大学)第二農場 ————— TEL 011-716-2111

第二農場は、明治42(1909)年から同45(1912)年にかけて、諸施設を酪農経営の実習施設として移転・新築したもので、北海道酪農の模範農場として指導者の養成や農業技術の向上に役立った面で高く評価されています。

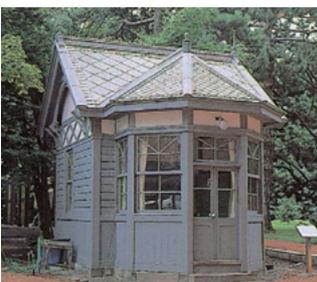


各建物は、建築年代により構造・工法に違いがあり、建築史上の価値も高く、当時の酪農経営の形態を知る上でも、貴重な遺構であるといえます。

また、各建物のデザインは木造、石造り、およびレンガ建築がお互いに調和し、景観に優れているといえます。

● 北海道大学農学部植物園・博物館 TEL 011-221-0066

明治15(1882)年、現北海道庁の西部は開拓使の牧羊場となっており、その一角に札幌博物場が建てられ、明治17(1884)年には牧羊場は植物園用地として札幌農学校に移管されました。その後、明治44(1911)年までの間に園路がつくられ、現在



門衛所



事務所



博物館本館

みられる植物園に整備されました。

博物館本館は、建築以来その機能を変えていない点で、わが国で最も古い博物館となっており、建物の各所に開拓使のマークである星形が刻み込まれているのが特徴です。